

U・Iターン就職インタビュー



越前市にある株式会社TOPさんにかがって、平成22年にU・Iターン就職された児玉 悠希さん(27歳)、越崎 雅也さん(36歳)、鈴木 健太郎さん(28歳)の3人に、Uターンするきっかけや仕事、生活などについてお話を伺いました。

所在地：越前市今宿町20-1



茨城県の医療機器関係のメーカーで機械設計業務に従事していた児玉さん。

「福井に帰るきっかけは家庭の事情でした。妻も福井県生まれで、結婚後は二人で茨城県で生活していましたが、家庭の事情から福井にUターンする事を決めました。就活はインターネット中心で行いました。どうやって検索したのか覚えてはいたのですが、インターネットでいろいろ探しているときにUターン就職支援センターのホームページを見つけました。民間が運営している転職サイトも見ましたが、福井県の企業の情報は少なく、かといって福井にしょっちゅう帰ってハローワークに行ける環境でもありませんでした。Uターン就職支援センターのページには企業の情報がいっぱい掲載されていたので、登録し

て利用させていただきました。

現在の職場では生産技術の仕事をしていて、機械設計に電気設計の配線作業、保全や工場内設備の配置変えといった何でもやる仕事です。前職は機械設計で細かい部品の設計が主でしたが、生産設備は大きなものが多くて畑が違うような感じですが、日々勉強しながら必死でやっています。職場は学校の先輩もいるので助けていただきながら、楽しく仕事ができています。」

プライベートでも家を新築し、奥様と2人のお子さんと幸せに暮らしていらっしゃる様子がうかがえました。

越崎さんは、石川県で建設鋼材のH鋼やアングルなどに穴を開けたり切断したりする会社でメカ設計に従事していました。

「私は石川県生まれですが、妻は福井県の出身なんです。結婚後は石川県内の雇促進住宅で生活してい

ましたが、そろそろ家を建てようかという頃になったときに、妻が子育てや両親のことを考えて福井に帰りたいと望みました。そこで妻の実家近くに家を建てて、私が転職することにしました。

就活は仕事をしながらでしたから、やはりインターネットでした。ネットで検索してジョブカフェの他、民間の転職サイトなどで捜していましたが、Uターン就職支援センターの企業情報が一番詳しく、載っている情報がハローワークみたいな感じだったので信用できるのかなと思って（笑）登録しました。福井県が運営している就職サイトだとは知らなかったのですが、企業の一覧も多かったし何度かやり取りしていくうちに信頼感も出てきました。

現在の会社では生産技術チームに配属されました。設計から製作・保全などの何でも屋ですが、幅広く知識を吸収できますし、自分で全部作り上げていく社風で、電機のことでも一から勉強しながら新しいことを覚えるのが楽しいです。」

今年4人目のお子さんが生まれて6人家族となった越崎さん。手が回らないときは近くの奥様の実家の助けも借りながら、仕事も家庭生活も充実した生活を送られているとのことでした。



広島県で働いていた鈴木さんは、

「携帯電話のメーカーで主に設計とか信頼性の業務に携わっていました。私は長男ですので、いつかは親元に帰らなければいけないという気持ちは常に心の片隅にありましたが、広島で働くうちに自分の中の地元に戻りたいという思いが次第に強くなり、インターネットでUターン就職支援センターを探し出して登録をしました。企業の情報をいただいたり、アドバイスなどをしていただいて、現在の仕事に転職しました。

職場は設計部門です。まだまだ未熟ですが、少しずつ設計もさせて頂けるようになりました。また、設計業務のほかにもモーターの信頼性や相関関係にも携わっています。

転職して良かったと感じるのは、特に人間関係です。前の会社では、人と人とのつながりが薄く寂しいと思ったことがありました。でも、この会社は人間関係がとても良好で感じが良く、仕事をしていても楽しいです。」

現在は、会社の近くに一人暮らしをしているためか、周囲の同僚に結婚をあおられていると話す鈴木さんは、ただいま婚活中とのことでした。

●総務チームリーダー小山 正一郎氏にUターン者への期待を伺いました。

「社会人でUターン就職された方は、会社にとっては即戦力です。はじめは会社の実情も分からないし、社風も変わりますが、早く慣れていただいて会社の中心的な人材となっていただきたいと思っています。これまでの経験を生かして活躍していただくと非常にありがたい。当社は年齢構成から見ると、30代前後の社員が少なく、これから中心となっていく人材が不足していました。こうした社員が将来会社を担っていく人材になってほしいと期待しています。そういった視点からも、県外で仕事をしていた人にどんどんUターンしていただいて、福井県の企業を盛り上げていただきたいですね。」



インタビュー中も、皆さんの社内携帯電話に業務連絡が次から次へと入ってきました。モータの受注も拡大され、生産が追いつかないという大変お忙しい状況の中、お時間をいただきありがとうございました。

ますますのご活躍を期待しています。